

11月1日（金） 神奈川県開成町

## 町や議会の概要

開成町は神奈川県の西部に位置し、足利上郡に属し県最小面積の自治体。人口18743人。人口は増加傾向にある。議員定数は12人、報酬は260000円。通年議会を導入。

## 課題と対策、町への活用など

### 1. YouTube、SNS活用について

- ・読む広報から見る広報へという考え方で進められている。
- ・見やすさや引き込まれるホームページの作り方には、事務局のアイデアがある。
- ・ホームページがすぐにできる動画アプリ編集を使っていて、自分で撮影して簡単に作ることができる。⇒動画アプリをタブレットに入れることで粕屋町議会でもすぐに取り組める。研修を受け使い慣れることが大切だと思う。
- ・独自のホームページを議会に取り入れるには、月17万円ほどの費用が掛かる。⇒それぞれの政務活動費を使えば、実現できるのではないかと考える。※来年の課題で、個々人が動画編集できるようにしてからでも良い。

### 2. 紙ベースの広報は、サイズを変えタブロイド判にし、毎月発行している。

### 2. 広報常任委員会の組織について

- ・全員が広報活動に携わっている。広報と広聴に分かれて作業する。⇒大切なことだと思う。全員で取り掛かることで議会を変える一員になるという意識が芽生える。

### 3. 広聴活動

- ・日曜議会の取組で、傍聴者が増えて廊下にもモニターを設置するほどである。また、傍聴者が子ども連れで参加できるように託児コーナー設置。子どもを預かる場所やキッズコーナーなどがある。庁舎自体がZEB庁舎で非常に気持ちの良い建物であった。補助金4億3106万円を交付してもらっている。

11月1日 神奈川県山北町

## 町や議会の概要

神奈川県西部に位置しほとんどが山岳地帯。山梨、静岡との県境がある。人口は、1万人を切っており、高齢化率は42.98%である。

議会広報誌としては、SNSの活用はせず現在の広報誌を維持していくとのこと。議員定数は12名、報酬は225500円である。広報広聴委員会には議長を除く全員が委員で、デジタル班とアナログ班に分かれている。

課題と対策、町への活用など

1, 広報広聴活動で、町民より意見を聞く機会をどのようにして設けてきたか。

① 広報モニターを設置し外部評価を行っている。モニターは11名で公募、任期は2年。モニターの所に広報誌とアンケート用紙を届け評価してもらう。広報誌は4回発行するので、モニターも年4回に活動となる。お礼に2000円のクオカードを配布している。

⇒粕屋町では、意見を聞く機会が少ないので、モニター制度は取り入れても良いと考える。

② おしゃべりカフェがあるが、初めは2名の広聴活動だったという。続けていくうちに（月1回）増えていったというが、スーパーの前に出て人を呼び止めるのも難しく地道な活動と思う。⇒粕屋町の場合、大型スーパーがあるが事前にスーパーなどに届けたり、商売の妨害になってはいけないので、事前準備が必要である。小型スーパーであれば、商工会などをお願いして協力していただくことになると思う。おしゃべりカフェはアナログ班が取り組んでいる。粕屋町の場合は全員に投げかけて、参加できる議員で進める形になると思う。出前議会との兼ね合いがどうなるか、どう進化させるかになる。

2, 議会広報誌の見やすさの工夫

- ・縦に棒状にタイトルが並べられないようにした。
- ・一般質問の文字制限についてや写真活用

粕屋町議会でも心がけていることなので、更に見ていただく広報誌になるよう努力する。